

高石商工会議所景気観測調査

2017年9月調査

調査概要

○調査対象：高石市内 43社

(業種内訳 製造業9社、建設業13社、小売業・卸売業7社、
飲食業5社、サービス業9社)

○調査時期：2017年9月

○調査項目：業況、売上高、採算、資金繰り、仕入価格、従業員(人手)状況

○調査方法：「FAX、インターネットによる回答」・「職員による調査票に基づくヒアリング」

※DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりの意味する。（仕入単価については、下落をプラス要素、上昇をマイナス要素としている。）

各DIが示す内容	プラス	マイナス
業況	好転	悪化
売上高	増加	減少
採算	好転	悪化
資金繰り	好転	悪化
仕入単価	下落	上昇
従業員	不足	過剰

(例) 業況 好転 40% 不変 35% 悪化 25%

$40 - 25 = 15$ 業況判断 DI = 15

全体

高石市全体の業況判断 DI はマイナス水準ながらやや改善となった。売上高 DI は改善となった。採算、資金繰りの DI 値については全業種において悪化している。仕入単価判断 DI は、全業種においてマイナス水準であるが、飲食業・サービス業において改善傾向にある。従業員の状況は横ばいで推移している。

来期については、業況は悪化が続く。売上高も悪化する兆しが見られる。その一方で採算、資金繰り、仕入単価ともに改善するとの見通しとなった。

全体 DI 値の推移（前年同月比）

	今期		来期見通し H29. 10 ~12 月期
	H29. 7 月期	H29. 9 月期	
業 況	▲ 8.7	▲ 2.3	▲ 9.3
売 上 高	0.0	7.0	4.7
採 算	4.3	▲ 16.3	2.3
資金繰り	▲ 4.3	▲ 14.0	▲ 9.3
仕入単価	▲ 48.9	▲ 51.2	▲ 32.6
従 業 員	23.9	23.8	23.3

○業況について

2017 年 9 月期の高石市内全業種の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は 9 社(20.9%)、「不変」と回答した企業は 24 社(55.8%)、「悪化」と回答した企業は 10 社(23.3%)である。全業種の業況判断(DI)は、▲2.3(前期比 6.4 ポイント増)とマイナス幅が縮小し、やや改善となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3カ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	9	20.9%	6	14.0%
不変	24	55.8%	27	62.8%
悪化	10	23.3%	10	23.3%

向こう3カ月の見通しは、「好転」と回答した企業は 6 社(14.0%)、「不変」と回答した企業は 27 社(62.8%)、「悪化」と回答した企業は 10 社(23.3%)である。来期予想業況判断(DI)は、▲9.3(今回調査より 7.0 ポイント減)となり、悪化するとの見通しとなった。

○売上高の動き

2017 年 9 月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は 14 社(32.6%)、「不変」と回答した企業は 18 社(41.9%)、「減少」と回答した企業は 11 社(25.6%)である。売上高判断(DI)は、7.0(前期比 7.0 ポイント増)となり、やや改善となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3カ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
増加	14	32.6%	11	25.6%
不変	18	41.9%	23	53.5%
減少	11	25.6%	9	20.9%

向こう3カ月の見通しは、「増加」と回答した企業は 11 社(25.6%)、「不変」と回答した企業は 23 社(53.5%)、「減少」と回答した企業は 9 社(20.9%)である。来期予想売上高判断(DI)は、4.7(今回調査より 2.3 ポイント減)となり、やや悪化するとの見通しとなった。

○採算の状況

2017 年 9 月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は 6 社(14.0%)、「不変」と回答した企業は 24 社(55.8%)、「悪化」と回答した企業は 13 社(30.2%)である。採算状況判断(DI)は、▲16.3(前期比 20.6 ポイント減)とマイナスに転じ、悪化となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3カ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	6	14.0%	8	18.6%
不変	24	55.8%	28	65.1%
悪化	13	30.2%	7	16.3%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は8社(18.6%)、「不変」と回答した企業は28社(65.1%)、「悪化」と回答した企業は7社(16.3%)である。来期予想採算状況判断(DI)は、2.3(今回調査より18.6ポイント増)とプラスに転じ、改善するとの見通しとなった。

○資金繰りの状況

2017年9月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は1社(2.3%)、「不変」と回答した企業は35社(81.4%)、「悪化」と回答した企業は7社(16.3%)である。資金繰り判断(DI)は、▲14.0(前期比9.7ポイント減)となり、悪化となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	1	2.3%	1	2.3%
不変	35	81.4%	37	86.0%
悪化	7	16.3%	5	11.6%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は1社(2.3%)、「不変」と回答した企業は37社(86.0%)、「悪化」と回答した企業は5社(11.6%)である。来期予想資金繰り判断(DI)は、▲9.3(今回調査より4.7ポイント増)とマイナス幅が縮小し、やや改善するとの見通しとなった。

○仕入単価の動き

2017年9月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は2社(4.7%)、「不変」と回答した企業は17社(39.5%)、「上昇」と回答した企業は24社(55.8%)である。仕入単価判断(DI)は、▲51.2(前期比2.3ポイント減)と引き続き悪化となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
下落	2	4.7%	2	4.7%
不変	17	39.5%	25	58.1%
上昇	24	55.8%	16	37.2%

向こう3ヵ月の見通しは、「下落」と回答した企業は2社(4.7%)、「不変」と回答した企業は25社(58.1%)、「上昇」と回答した企業は16社(37.2%)である。来期予想仕入単価判断(DI)は、▲32.6(今回調査より18.6ポイント増)とマイナス幅が縮小し、改善するとの見通しとなった。

○従業員について

2017年9月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は10社(23.8%)、「不変」と回答した企業は32社(76.2%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。従業員判断(DI)は、23.8(前期比0.1ポイント減)となり、横ばいとなった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
不足	10	23.8%	10	23.3%
不変	32	76.2%	33	76.7%
過剰	0	0.0%	0	0.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「不足」と回答した企業は10社(23.3%)、「不変」と回答した企業は33社(76.7%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。来期予想従業員判断(DI)は、23.3(今回調査より0.5ポイント減)となり、横ばいで推移する見通しとなった。

製造業

製造業では、業況は前期より好転したが、他の調査項目(売上高、採算、資金繰り、仕入単価)において悪化している。業況の良さをすぐには自社の好機となっていない状況が窺われる。

来期の見通しについては、今期の状況とは逆に、業況は悪化するとの見通しであるが、他の項目についてはすべて改善するとの見通しである。

製造業 DI 値の推移 (前年同月比)

	今期		来期見通し
	H29. 7 月期	H29. 9 月期	H29. 10 ~12 月期
業 況	0.0	11.1	▲ 33.3
売 上 高	9.1	▲ 22.2	0.0
採 算	18.2	▲ 22.2	▲ 11.1
資金繰り	▲ 18.2	▲ 22.2	▲ 22.2
仕入単価	▲ 54.5	▲ 77.8	▲ 66.7
従 業 員	27.3	22.2	22.2

○業況について

2017年9月期の製造業の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は4社(44.4%)、「不変」と回答した企業は2社(22.2%)、「悪化」と回答した企業は3社(33.3%)である。業況判断(DI)は11.1(前期比11.1ポイント増)と改善となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	好転	4	44.4%	1
不変	2	22.2%	4	44.4%
悪化	3	33.3%	4	44.4%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は1社(11.1%)、「不変」と回答した企業は4社(44.4%)、「悪化」と回答した企業は4社(44.4%)である。来期予想業況判断(DI)は、▲33.3(今回調査より44.4ポイント減)とマイナスに転じ、再び悪化するとの見通しとなった。

○売上高の動き

2017年9月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は2社(22.2%)、「不変」と回答した企業は3社(33.3%)、「減少」と回答した企業は4社(44.4%)である。売上高判断(DI)は、▲22.2(前期比31.3ポイント減)と悪化となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	増加	2	22.2%	3
不変	3	33.3%	3	33.3%
減少	4	44.4%	3	33.3%

向こう3ヵ月の見通しは、「増加」と回答した企業は3社(33.3%)、「不変」と回答した企業は3社(33.3%)、「減少」と回答した企業は3社(33.3%)である。来期予想売上高判断(DI)は、0.0(今回調査より22.2ポイント増)となり、改善するとの見通しとなった。

○採算の状況

2017年9月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は2社(22.2%)、「不変」と回答した企業は3社(33.3%)、「悪化」と回答した企業は4社(44.4%)である。採算状況判断(DI)は、▲22.2(前期比40.4ポイント減)と悪化となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	好転	2	22.2%	2
不変	3	33.3%	4	44.4%
悪化	4	44.4%	3	33.3%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は2社(22.2%)、「不変」と回答した企業は4社(44.4%)、「悪化」と回答した企業は3社(33.3%)である。来期予想採算状況判断(DI)は、▲11.1(今

回調査より 11.1 ポイント増)となり、改善されるとの見通しとなった。

○資金繰りの状況

2017年9月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は7社(77.8%)、「悪化」と回答した企業は2社(22.2%)である。資金繰り判断(DI)は、▲22.2(前期比4ポイント減)となり、やや悪化した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	0	0.0%	0	0.0%
不変	7	77.8%	7	77.8%
悪化	2	22.2%	2	22.2%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は7社(77.8%)、「悪化」と回答した企業2社(22.2%)である。来期予想資金繰り判断(DI)は、▲22.2(今回調査と変わらず)となり、横ばいの見通しとなった。

○仕入単価の動き

2017年9月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は2社(22.2%)、「上昇」と回答した企業は7社(77.8%)である。仕入単価判断(DI)は、▲77.8(前期比23.3ポイント減)と悪化となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
下落	0	0.0%	0	0.0%
不変	2	22.2%	3	33.3%
上昇	7	77.8%	6	66.7%

向こう3ヵ月の見通しは、「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は3社(33.3%)、「上昇」と回答した企業は6社(66.7%)である。来期予想仕入単価判断(DI)は、▲66.7(今回調査より11.1ポイント増)となり、改善するとの見通しとなった。

○従業員について

2017年9月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は2社(22.2%)、「不変」と回答した企業は7社(77.8%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。従業員判断(DI)は、22.2(前期比5.1ポイント減)となり、やや不足感が解消した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
不足	2	22.2%	2	22.2%
不変	7	77.8%	7	77.8%
過剰	0	0.0%	0	0.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「不足」と回答した企業は2社(22.2%)、「不変」と回答した企業は7社(77.8%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。来期予想従業員判断(DI)は、22.2(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移するとの見通しとなった。

企業のコメント

- ・ 製品クレーム増加。
- ・ 従業員不足。
- ・ 受注が極端に減っている。業界全体の動きが悪い。規制が強化されすぎて、安価な商品の製作が困難。
- ・ 資金繰り。
- ・ お客様の廃業、高齢化。インターネットによる注文の増加。泉州地域（岸和田市）では、低価格競争により廃業が相次いでいる。

建設業

建設業では、前期より業況、売上高ともに好転しているが、仕入単価が引き続き上昇し、採算、資金繰りともに悪化している。従業員の不足感はやや解消している。

来期については、業況は横ばいとなる見通しとなるものの、採算、資金繰り、仕入単価は好転する見通しとなった。売上高は減少するとの見通しとなった。

建設業 DI 値の推移（前年同月比）

	今期		来期見通し
	H29. 7 月期	H29. 9 月期	H29. 10 ～12 月期
業 況	▲ 9.1	7.7	7.7
売 上 高	9.1	38.5	▲ 7.7
採 算	18.2	▲ 15.4	7.7
資金繰り	9.1	0.0	7.7
仕入単価	▲ 45.5	▲ 61.5	▲ 30.8
従 業 員	54.5	38.5	38.5

○業況について

2017年9月期の建設業の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は3社(23.1%)、「不変」と回答した企業は8社(61.5%)、「悪化」と回答した企業は2社(15.4%)である。業況判断(DI)は、7.7(前期比 16.8 ポイント増)とプラスに転じた。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	3	23.1%	2	15.4%
不変	8	61.5%	10	76.9%
悪化	2	15.4%	1	7.7%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は2社(15.4%)、「不変」と回答した企業は10社(76.9%)、「悪化」と回答した企業1社(7.7%)である。来期予想業況判断(DI)は、7.7(今回調査と変わらず)となり、横ばいの見通しとなった。

○売上高の動き

2017年9月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は6社(46.2%)、「不変」と回答した企業は6社(46.2%)、「減少」と回答した企業は1社(7.7%)である。売上高判断(DI)は、38.5(前期比 29.4 ポイント増)となり、引き続きプラスで推移した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
増加	6	46.2%	2	15.4%
不変	6	46.2%	8	61.5%
減少	1	7.7%	3	23.1%

向こう3ヵ月の見通しは、「増加」と回答した企業は2社(15.4%)、「不変」と回答した企業は8社(61.5%)、「減少」と回答した企業3社(23.1%)である。来期予想売上高判断(DI)は、▲7.7(今回調査より 46.2 ポイント減)とマイナスに転じ、減少するとの見通しとなった。

○採算の状況

2017年9月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は1社(7.7%)、「不変」と回答した企業は9社(69.2%)、「悪化」と回答した企業は3社(23.1%)である。採算状況判断(DI)は、▲15.4(前期比 33.6 ポイント減)とマイナスに転じた。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	1	7.7%	3	23.1%
不変	9	69.2%	8	61.5%
悪化	3	23.1%	2	15.4%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は3社(23.1%)、「不変」と回答した企業は8社(61.5%)、「悪化」と回答した企業は2社(15.4%)である。来期予想採算状況判断(DI)は、7.7(今

回調査より 23.1 ポイント増)と再びプラスに転じ、改善するとの見通しとなった。

○資金繰りの状況

2017年9月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は1社(7.7%)、「不変」と回答した企業は11社(84.6%)、「悪化」と回答した企業は1社(7.7%)である。資金繰り判断(DI)は、0.0(前期比9.1ポイント減)と悪化傾向にある。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3カ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	1	7.7%	1	7.7%
不変	11	84.6%	12	92.3%
悪化	1	7.7%	0	0.0%

向こう3カ月の見通しは、「好転」と回答した企業は1社(7.7%)、「不変」と回答した企業は12社(92.3%)、「悪化」と回答した企業は0社(0.0%)である。来期予想資金繰り判断(DI)は、7.7(今回調査より7.7ポイント増)となり、好転する見通しとなった。

○仕入単価の動き

2017年9月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は5社(38.5%)、「上昇」と回答した企業は8社(61.5%)である。仕入単価判断(DI)は、▲61.5(前期比16ポイント減)とマイナスで推移しさらに悪化した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3カ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
下落	0	0.0%	0	0.0%
不変	5	38.5%	9	69.2%
上昇	8	61.5%	4	30.8%

向こう3カ月の見通しは、「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は9社(69.2%)、「上昇」と回答した企業は4社(30.8%)である。来期予想仕入単価判断(DI)は、▲30.8(今回調査より30.7ポイント増)となり、マイナス幅が縮小し、改善するとの見通しとなった。

○従業員について

2017年9月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は5社(38.5%)、「不変」と回答した企業は8社(61.5%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。従業員判断(DI)は、38.5(前期比16.0ポイント減)とプラスで推移しているが不足感が解消傾向にある。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3カ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
不足	5	38.5%	5	38.5%
不変	8	61.5%	8	61.5%
過剰	0	0.0%	0	0.0%

向こう3カ月の見通しは、「不足」と回答した企業は5社38.5%、「不変」と回答した企業は8社(61.5%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。来期予想従業員判断(DI)は、38.5(今回調査と変わらず)とプラス水準のまま横ばいで推移する見通しとなった。

企業のコメント

- ・ 人手不足。
- ・ 若干利益率が下がっている。
- ・ 商品(土地)仕入れ価格は高上りしているが、売値は据え置き状態。当然収益面に影響あり。金融の緩和状況に安堵(?)している。リフォーム、仲介等にて収入UP図っている。
- ・ 従業員の増員を考えております。

小売業・卸売業

小売業・卸売業では、前期より業況、売上高ともに好転となったが、仕入単価は上昇が続き、採算はやや悪化した。資金繰りも悪化が続く。

来期については、業況は、業況判断 DI がマイナスに転じ悪化する見通しとなったが、他の項目については改善される見通しである。

小売業・卸売業 DI 値の推移（前年同月比）

	今期		来期見通し
	H29. 7 月期	H29. 9 月期	H29. 10 ～12 月期
業 況	▲ 27.3	0.0	▲ 14.3
売 上 高	▲ 18.2	0.0	14.3
採 算	▲ 27.3	▲ 28.6	14.3
資金繰り	▲ 18.2	▲ 28.6	▲ 28.6
仕入単価	▲ 45.5	▲ 57.1	▲ 14.3
従 業 員	0.0	0.0	0.0

○業況について

2017年9月期の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は1社(14.3%)、「不変」と回答した企業は5社(71.4%)、「悪化」と回答した企業は1社(14.3%)である。小売業・卸売業の業況判断(DI)は、0.0(前期比 27.3ポイント増)と改善となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3カ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	1	14.3%	1	14.3%
不変	5	71.4%	4	57.1%
悪化	1	14.3%	2	28.6%

向こう3カ月の見通しは、「好転」と回答した企業は1社(14.3%)、「不変」と回答した企業は4社(57.1%)、「悪化」と回答した企業は2社(28.6%)である。来期予想業況判断(DI)は、▲14.3(今回調査より 14.3ポイント減)となり、マイナスに転じ悪化する見通しとなった。

○売上高の動き

2017年9月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は2社(28.6%)、「不変」と回答した企業は3社(42.9%)、「減少」と回答した企業は2社(28.6%)である。売上高判断(DI)は、0.0(前期比 18.2ポイント増)と改善となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3カ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
増加	2	28.6%	2	28.6%
不変	3	42.9%	4	57.1%
減少	2	28.6%	1	14.3%

向こう3カ月の見通しは、「増加」と回答した企業は2社(28.6%)、「不変」と回答した企業は4社 57.1%、「減少」と回答した企業は1社(14.3%)である。来期予想売上高判断(DI)は、14.3(今回調査より 14.3ポイント増)となり、引き続き改善する見通しとなった。

○採算の状況

2017年9月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は1社(14.3%)、「不変」と回答した企業は3社(42.9%)、「悪化」と回答した企業は3社(42.9%)である。採算状況判断(DI)は、▲28.6(前期比 1.3ポイント減)となり、マイナス水準のまま、やや悪化が進んだ。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3カ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	1	14.3%	1	14.3%
不変	3	42.9%	6	85.7%
悪化	3	42.9%	0	0.0%

向こう3カ月の見通しは、「好転」と回答した企業は1社(14.3%)、「不変」と回答した企業は6

社(85.7%)、「悪化」と回答した企業は 0 社(0.0%)である。来期予想採算状況判断(DI)は、14.3(今回調査より 42.9 ポイント増)となり、プラスに転じ大きく改善する見通しとなった。

○資金繰りの状況

2017 年 9 月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は 0 社(0.0%)、「不変」と回答した企業は 5 社(71.4%)、「悪化」と回答した企業は 2 社(28.6%)である。資金繰り判断(DI)は、▲28.6(前期比 10.4 ポイント減)となり、マイナスが拡大し更に悪化が進んだ。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	0	0.0%	0	0.0%
不変	5	71.4%	5	71.4%
悪化	2	28.6%	2	28.6%

向こう 3 ヶ月の見通しは、「好転」と回答した企業は 0 社(0.0%)、「不変」と回答した企業は 5 社(71.4%)、「悪化」と回答した企業は 2 社(28.6%)である。来期予想資金繰り判断(DI)は、▲28.6(今回調査と変わらず)となり、マイナス水準のまま、横ばいで推移する見通しとなった。

○仕入単価の動き

2017 年 9 月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は 1 社(14.3%)、「不変」と回答した企業は 1 社(14.3%)、「上昇」と回答した企業は 5 社(71.4%)である。仕入単価判断(DI)は、▲57.1(前期比 11.6 ポイント減)となり、マイナス幅が大きくなり、悪化が進んだ。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
下落	1	14.3%	1	14.3%
不変	1	14.3%	4	57.1%
上昇	5	71.4%	2	28.6%

向こう 3 ヶ月の見通しは、「下落」と回答した企業は 1 社(14.3%)、「不変」と回答した企業は 4 社(57.1%)、「上昇」と回答した企業は 2 社(28.6%)である。来期予想仕入単価判断(DI)は、▲14.3(今回調査より 42.8 ポイント増)となり、マイナス幅が縮小し、改善する見通しとなった。

○従業員について

2017 年 9 月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は 0 社(0.0%)、「不変」と回答した企業は 7 社(100.0%)、「過剰」と回答した企業は 0 社(0.0%)である。従業員判断(DI)は、0.0(前期と変わらず)となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
不足	0	0.0%	0	0.0%
不変	7	100.0%	7	100.0%
過剰	0	0.0%	0	0.0%

向こう 3 ヶ月の見通しは、「不足」と回答した企業は 0 社(0.0%)、「不変」と回答した企業は 7 社(100.0%)、「過剰」と回答した企業は 0 社(0.0%)である。来期予想従業員判断(DI)は、0.0(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移する見通しとなった。

企業のコメント

- ・ 主力商品のラインナップを増やしたい。また、主力となる商品の生産速度アップを図り、売上アップに繋げたい。

飲食業

飲食業では、前期より業況の悪化が続く。売上高は増加、仕入原価も上昇が止まり、改善に向かったが、採算は悪化が続いている。

来期については、業況も改善に向うとの見通しである。仕入単価は横ばいであるが、売上高、採算、資金繰りについても改善への向かうとの見通しである。

飲食業 DI 値の推移（前年同月比）

	今期		来期見通し
	H29. 7 月期	H29. 9 月期	H29. 10 ～12 月期
業 況	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0
売 上 高	▲ 40.0	0.0	20.0
採 算	▲ 20.0	▲ 40.0	0.0
資金繰り	0.0	▲ 20.0	0.0
仕入単価	▲ 80.0	▲ 20.0	▲ 20.0
従 業 員	20.0	40.0	40.0

○業況について

2017年9月期の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は3社(60.0%)、「悪化」と回答した企業は2社(40.0%)である。飲食業の業況判断(DI)は、▲40.0(前期比 20.0 ポイント減)となり、マイナスが拡大し更に悪化が進んだ。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	0	0.0%	0	0.0%
不変	3	60.0%	4	80.0%
悪化	2	40.0%	1	20.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は4社(80.0%)、「悪化」と回答した企業は1社(20.0%)である。来期予想業況判断(DI)は、▲20.0(今回調査より 20.0 ポイント増)となり、マイナス幅が縮小し、改善する見通しとなった。

○売上高の動き

2017年9月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は1社(20.0%)、「不変」と回答した企業は3社(60.0%)、「減少」と回答した企業は1社(20.0%)である。売上高判断(DI)は、0.0(前期比 40.0 ポイント増)となり、大きく改善となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
増加	1	20.0%	2	40.0%
不変	3	60.0%	2	40.0%
減少	1	20.0%	1	20.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「増加」と回答した企業は2社(40.0%)、「不変」と回答した企業は2社(40.0%)、「減少」と回答した企業は1社(20.0%)である。来期予想売上高判断(DI)は、20.0(今回調査より 20.0 ポイント増)となり、改善する見通しとなった。

○採算の状況

2017年9月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は3社(60.0%)、「悪化」と回答した企業は2社(40.0%)である。採算状況判断(DI)は、▲40.0(前期比 20.0 ポイント減)となり、マイナス幅が拡大し悪化が進んだ。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	0	0.0%	1	20.0%
不変	3	60.0%	3	60.0%
悪化	2	40.0%	1	20.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は1社(20.0%)、「不変」と回答した企業は3

社(60.0%)、「悪化」と回答した企業は1社(20.0%)である。来期予想採算状況判断(DI)は、0.0(今回調査より40.0ポイント増)となり、改善する見通しとなった。

○資金繰りの状況

2017年9月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は4社(80.0%)、「悪化」と回答した企業は1社(20.0%)である。資金繰り判断(DI)は、▲20.0(前期比20.0ポイント減)となり悪化した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	0	0.0%	0	0.0%
不変	4	80.0%	5	100.0%
悪化	1	20.0%	0	0.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は5社(100.0%)、「悪化」と回答した企業は0社(0.0%)である。来期予想資金繰り判断(DI)は、0.0(今回調査より20.0ポイント増)となり、改善する見通しとなった。

○仕入単価の動き

2017年9月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は1社(20.0%)、「不変」と回答した企業は2社(40.0%)、「上昇」と回答した企業は2社(40.0%)である。仕入単価判断(DI)は、▲20.0(前期比60.0ポイント増)となり、マイナス幅が縮小し改善が見られた。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
下落	1	20.0%	1	20.0%
不変	2	40.0%	2	40.0%
上昇	2	40.0%	2	40.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「下落」と回答した企業は1社(20.0%)、「不変」と回答した企業は2社(40.0%)、「上昇」と回答した企業は2社(40.0%)である。来期予想仕入単価判断(DI)は、▲20.0(今回調査と変わらず)となり、マイナス水準のまま横ばいで推移する見通しとなった。

○従業員について

2017年9月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は2社(40.0%)、「不変」と回答した企業は3社(60.0%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。従業員判断(DI)は、40.0(前期比20.0ポイント増)となり、人手不足感が強まった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
不足	2	40.0%	2	40.0%
不変	3	60.0%	3	60.0%
過剰	0	0.0%	0	0.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「不足」と回答した企業は2社(40.0%)、「不変」と回答した企業は3社(60.0%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。来期予想従業員判断(DI)は、40.0(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移する見通しとなった。

企業のコメント

- ・ 集客、予約がない時がある。

サービス業

サービス業では、前期より仕入単価は改善に向っているが、業況、売上高、採算、資金繰りについては悪化となった。

来期については、採算では悪化が続くが、業況、売上高は改善に向う見通しである。資金繰り、仕入単価は横ばいの見通しとなった。

サービス業 DI 値の推移（前年同月比）

	今期		来期見通し
	H29. 7 月期	H29. 9 月期	H29. 10 ～12 月期
業 況	12.5	▲ 11.1	0.0
売 上 高	25.0	0.0	11.1
採 算	25.0	11.1	0.0
資金繰り	12.5	▲ 11.1	▲ 11.1
仕入単価	▲ 28.6	▲ 22.2	▲ 22.2
従 業 員	12.5	12.5	11.1

○業況について

2017年9月期の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は1社(11.1%)、「不変」と回答した企業は6社(66.7%)、「悪化」と回答した企業は2社(22.2%)である。サービス業の業況判断(DI)は、▲11.1(前期比23.6ポイント減)となり、マイナスに転じ悪化となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	好転	1	11.1%	2
不変	6	66.7%	5	55.6%
悪化	2	22.2%	2	22.2%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は2社(22.2%)、「不変」と回答した企業は5社(55.6%)、「悪化」と回答した企業2社(22.2%)である。来期予想業況判断(DI)は、0.0(今回調査より11.1ポイント増)となり、改善するとの見通しとなった。

○売上高の動き

2017年9月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は3社(33.3%)、「不変」と回答した企業は3社(33.3%)、「減少」と回答した企業は3社(33.3%)である。売上高判断(DI)は、0.0(前期比25.0ポイント減)となり悪化となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	増加	3	33.3%	2
不変	3	33.3%	6	66.7%
減少	3	33.3%	1	11.1%

向こう3ヵ月の見通しは、「増加」と回答した企業は2社(22.2%)、「不変」と回答した企業は6社(66.7%)、「減少」と回答した企業は1社(11.1%)である。来期予想売上高判断(DI)は、11.1(今回調査より11.1ポイント増)となり、改善するとの見通しとなった。

○採算の状況

2017年9月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は2社(22.2%)、「不変」と回答した企業は6社(66.7%)、「悪化」と回答した企業は1社(11.1%)である。採算状況判断(DI)は、11.1(前期比13.9ポイント減)となり悪化となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	好転	2	22.2%	1
不変	6	66.7%	7	77.8%
悪化	1	11.1%	1	11.1%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は1社(11.1%)、「不変」と回答した企業は7社(77.8%)、「悪化」と回答した企業は1社(11.1%)である。来期予想採算状況判断(DI)は、0.0(今

回調査より 11.1 ポイント減)となり悪化するとの見通しとなった。

○資金繰りの状況

2017年9月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は8社(88.9%)、「悪化」と回答した企業は1社(11.1%)である。資金繰り判断(DI)は、▲11.1(前期比23.6ポイント減)となりマイナスに転じ悪化となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3カ月の 見通し	
	好転	0	0.0%	0
不変	8	88.9%	8	88.9%
悪化	1	11.1%	1	11.1%

向こう3カ月の見通しは、「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は8社(88.9%)、「悪化」と回答した企業は1社(11.1%)である。来期予想資金繰り判断(DI)は、▲11.1(今回調査と変わらず)となり、マイナス水準のまま横ばいで推移するとの見通しとなった。

○仕入単価の動き

2017年9月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は7社(77.8%)、「上昇」と回答した企業は2社(22.2%)である。仕入単価判断(DI)は、▲22.2(前期比6.4ポイント増)となり、マイナス水準であるが改善となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3カ月の 見通し	
	下落	0	0.0%	0
不変	7	77.8%	7	77.8%
上昇	2	22.2%	2	22.2%

向こう3カ月の見通しは、「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は7社(77.8%)、「上昇」と回答した企業は2社(22.2%)である。来期予想仕入単価判断(DI)は、▲22.2(今回調査と変わらず)となり、マイナス水準のまま横ばいで推移するとの見通しとなった。

○従業員について

2017年9月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は1社(12.5%)、「不変」と回答した企業は7社(87.5%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。従業員判断(DI)は、12.5(前期と変わらず)となり横ばいで推移となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3カ月の 見通し	
	不足	1	12.5%	1
不変	7	87.5%	8	88.9%
過剰	0	0.0%	0	0.0%

向こう3カ月の見通しは、「不足」と回答した企業は1社(11.1%)、「不変」と回答した企業は8社(88.9%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。来期予想従業員判断(DI)は、11.1(今回調査より1.4ポイント減)となり、横ばいで推移するとの見通しとなった。

企業のコメント

- ・ 私を含めて、お客様の高齢化。
- ・ 競合他社との競争。